

娘の未来に、
私が今できること



子宮頸がんは、予防する方法があります。 詳しくは、医師にご相談ください。

子宮頸がんは、
おもにHPV(ヒトパピローマウイルス)
の感染が原因の疾患です。

罹患者数：毎年
約 **10,000** 人

死亡者数：年間
約 **2,900** 人

20~30代でも罹患

国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録/厚生労働省人口動態統計) 全国がん罹患データ(2016年~2020年)/全国がん死亡データ(1958年~2023年)

10代からのHPVワクチン接種と、20歳を過ぎたら加えて定期的な検診が大切です。^{※1}

10代から

HPVワクチン 2回、または3回接種で完了^{※2}

20歳を過ぎたら

定期的な
検診

2025年度の公費助成(原則自己負担なし)対象者

小学校6年生~高校1年生相当の女子

定期接種

今年度 **12歳~16歳** になる方

2009年4月2日~2014年4月1日生まれ/標準的な接種時期は中学校1年生



20歳を過ぎたら、
子宮頸がん検診を
定期的に受けましょう。

**今年度、定期接種対象の最終年度である16歳になる方は
9月末までに医師にご相談ください。**^{※2}

なお、2024年度中に接種完了できなかった方への経過措置が設けられています。
1997年4月2日~2009年4月1日に生まれた方で、2022年4月1日~2025年3月31日の間に
HPVワクチンを1回以上接種している方は2026年3月31日まで残りの接種を
公費で受けることが可能です^{※2}。



※1: HPVワクチンと検診で子宮頸がんを100%予防できるわけではありません。

※2: 接種時の年齢やワクチンの種類により、2回もしくは3回の接種を完了する必要があります。

標準的なスケジュールでは6か月で接種完了となります。接種スケジュールなど、詳しくは医師にご相談ください。

詳しくは、**もっと知りたい** 子宮頸がん予防 で、ご確認ください。

子宮頸がん予防 🔍

